

2012年新春対談企画

『若手農家と考えるまちづくり』

- ・安水 純 一 (安水自治会)
- ・小梅枝 祐 二 (中村自治会)
- ・城下 浩 一 (六反田自治会)
- ・小園 啓一郎 (神川上自治会)

- ・寺田 洋 人 (木場自治会)
- ・大坪 稔 (宿利原自治会)
- ・濱田 隆 介 (昇陽自治会)
- ・進行：壺崎 浩 二
- ・企画編集：宿利原 伸 一

今回、2012年新春企画として平成23年政策目標として町長が掲げた下記の内容を中心に錦江町内の若手農家の方々に集まって頂き、対談をしていただきました。

- 契約栽培作物の品目拡大・面積拡大
- 農産物・加工品等の販売促進のための協議会設立
- 6次産業化について



進行
壺崎 浩二さん

今回、新春対談企画として町内の各地域からお集まりいただきありがとうございます。

早速ですが、政策目標として掲げられた契約栽培の品目拡大・面積拡大について町長の方からお願いします。

今回、若手農家と考えるまちづくり対談に、各地域からお集まり頂きありがとうございます。平成23年政策目標として5点ほど掲げましたがそのうち今回は、農業に関する事について皆様方の意見をお聞きしながら、今後の町政に取り組んでいきたいと思っておりますので、活発なご意見を宜しくお願いします。

契約栽培の品目拡大・面積拡大につきましては、錦江町内でブロッコリーやキャベツ、青果用大根・生姜などを新たに取り組んだ農家がありました。特に青果用大根や生姜は、葉タバコの代替作物として取り組まれています。昨年JT（日本たばこ産業）が廃作を募集し、町内でも多くの方々がこれに応じました。町としても葉タバコに代わる代替作物の一つに昨年取り組まれた作物を参考に取り組んでいきたいと思っています。また、品目拡大・面積拡大につながるよう昨年助成制度などを検討しましたので、平成24年度に皆様方に提示していきたいと思っています。



錦江町長



大坪 稔さん

私は、宿利原地区で主要作物として葉タバコと干し大根を生産し、他にも加工用の芋や高菜も作っています。どれも会社との契約栽培として出荷していますが、会社の都合で契約単価を下げられる事が多い。特に錦江町の干し大根は県内でも有数の出荷量を占めていますが、複数の会社に分かれているのでなかなか会社側と交渉できていないのが現状です。今後錦江町が一つとなり、会社側と対等な立場で規格や契約単価の交渉を行っていければ、安定した農業が出来てくるのではないかと思います。

私は、安水自治会で青果用大根や焼耐用の芋を作っています。昨年までは葉タバコを生産していましたが、JTの廃作募集に応じその代替えとして焼耐用の芋を今後規模拡大し、生産していこうと考えています。青果用大根は平成2年から作り、錦江町内で生産しているのは現在私だけになっています。青果用大根は種類が多くその土地や気候にあった物を見つけるのに苦労しました。



安水 純一さん